

平成30年度 第1回 宮城県環境アドバイザー 現地検討会（東部管内）を開催しました



平成30年8月7日(火)に、宮城県環境アドバイザーによる現地検討会を開催しました。災害復旧箇所（大沢川・皿貝川・南北上運河・大曲浜海岸・州崎海岸）における環境配慮事項について、県から説明・報告し、アドバイザーから意見（指導・助言）をいただきました。



○大沢川・皿貝川（石巻市）

背割堤の環境配慮事項は素晴らしい。今後は覆土した場所が帰化植物の優占が心配される。（アドバイザーからの意見）



○州崎海岸（東松島市）

前回、前浜に移植したハマナスは波を被ってしまいダメになってしまったので、できる範囲で前浜にマウンドを作り、差し木・播種等を行うと良い。（アドバイザーからの意見）



○南北上運河（東松島市）

仮移植地で結実しているハマナスから、大曲浜の残存松と防潮堤との間に播種を行う良い。とまた、新堤と旧堤の間がハマナスの生息域として適していると思われるので、今後、移植や挿し木を検討すると良い。（アドバイザーからの意見）



ハマナス（準絶滅危惧）

本県の海岸域に生育するが、生育域は比較的限定させている。園芸植物として採取される危惧がある平成23年の東日本大震災の大津波に遭遇し絶滅した所も多くある。

※写真は津波に遭遇したが、奇跡的に回復した州崎（野蒜）海岸のハマナス

宮城県土木部河川課

TEL: 022-211-3174 FAX: 022-211-3197

E-mail: kasen-ka@pref.miyagi.lg.jp HP: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kasen/>

